

# 大原中だより

さいたま市立大原中学校  
TEL 048-831-5397  
FAX 048-835-1357  
第 4 号

はつらつとした学校、地域に輝く学校

令和元年 7月 1日 (月)

メールアドレス: ohara-j@saitama-city.ed.jp ホームページ: http://ohara-j.saitama-city.ed.jp/

## 『 “心が決める自分” が、Heart Words ! 』

校長 小林 広利

甘えることと頼ることは違います。甘えることは、年齢の小さな子どもたちが得意とすること。年齢の小さな子どもたちの成長には必要なことです。自分が認められることはうれしいことですし、自分を守ってくれる誰かがいて、心が折れそうになった時に、思いきって甘えてみることは、中学生の皆さんでも必要なときがあるでしょう。しかしそこから、自分の弱さも理解し、自分のよさや強さを見つけ出していくことができるとするならば、その甘えは、いわゆる頼るということだと思います。しかし、自分を見つめようとする姿勢をもつことなく、何かに甘えるだけならば、その甘えは年齢の小さな子どもたちの甘えに等しくなります。また、年齢の小さな子どもたちは、やりたいと感じるとすぐに行動に起こし、周りの友達とトラブルになることもしばしばです。この時期の子どもたちは、体験から多くのことを学びとる時代であるため、自分を制御するということは苦手な時期です。では、中学生の皆さんならどうでしょうか。「自分はこうしたい」「自分はこれがやりたい」というだけの自分本位な行動で、全体の行動を乱したり他者の気持ちを傷つけたりしてはいけません。皆さんは「自分事として全体を考える」「自分事として他者を思いやる」という勇気や行動が起こせる年代です。今後の自分の人生を有意義で明るいものにするために、また、すべての生徒が安全で安心できる学校生活を送れるようにするために、責任をもって自分の行動や生き方を決めてほしいと願っています。

中学時代は、自分を振り返り伸ばす時期です。今まで進学した先輩方に「中学校と高等学校等との違い」を聞いた記録を紹介しますので、今の自分を振り返って考えてほしいと思います。

- ①「中学校は義務教育です。しかし、これから先は義務教育ではありません。だから、これからは、友達が受験するから自分も受験したではなく、意思をもって学ぶべきだと思います。」
- ②「自由度の違いじゃないでしょうか。その分、自分で責任をもった行動と判断をすることが大切！危険なことや取り返しのつかない事態にならないように、行動に責任をもつというか！」
- ③「高校では学習量が増える。高校の授業は中学に比べると進度が速いので大変！」
- ④「専門学校の高等課程に進学しましたが、中学とは比較にならないほど皆がやる気に満ちていました。自由な分、それは自分で何かをしなければならない自由だと感じました。」
- ⑤「中学の頃よりも通学時間が長くなった。部活を始めると帰宅時間が夜遅くなるが、勉強もしないとついていけない。あっという間に1日が終わる。時間の使い方を考えないとダメだと思う！」
- ⑥「この1年間と過去（中学校時代）との違いはたくさんあるが、要するに“心が決める自分”が大切だった。“心が決める自分”とは、時間の使い方にせよ、友達との付き合い方にせよ、常に自分の行動を振り返れる自分がいることで、高校生活を大きく左右する Heart Wordsだと思う！」

先輩方の話を聞いて、皆さんはどのように感じましたか。学校総合体育大会や修学旅行・校外学習等で、皆さんは大きな成果を上げました。結果のみでなく、その過程において「やり抜く自分」がいたように感じます。

“心が決める自分”というものが、高校生活を左右するのであれば、中学時代の今から考えて行動すべきヒントを先輩方からいただいた気がします。夏季休業日が近づく今、もう一度自分を見つめ直してみてください。



奈良：大仏殿前にて